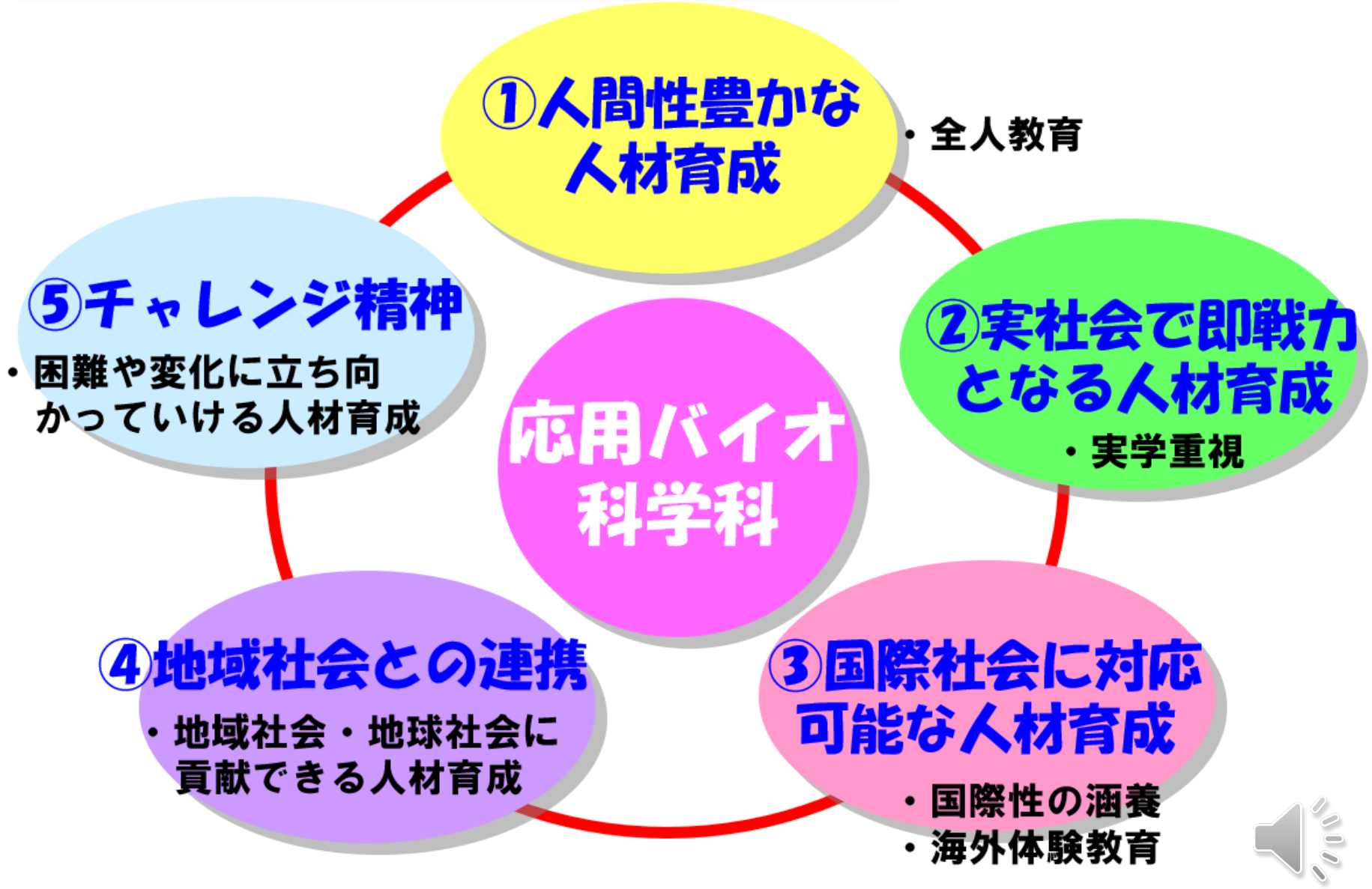
父母説明会資料　1年生向け

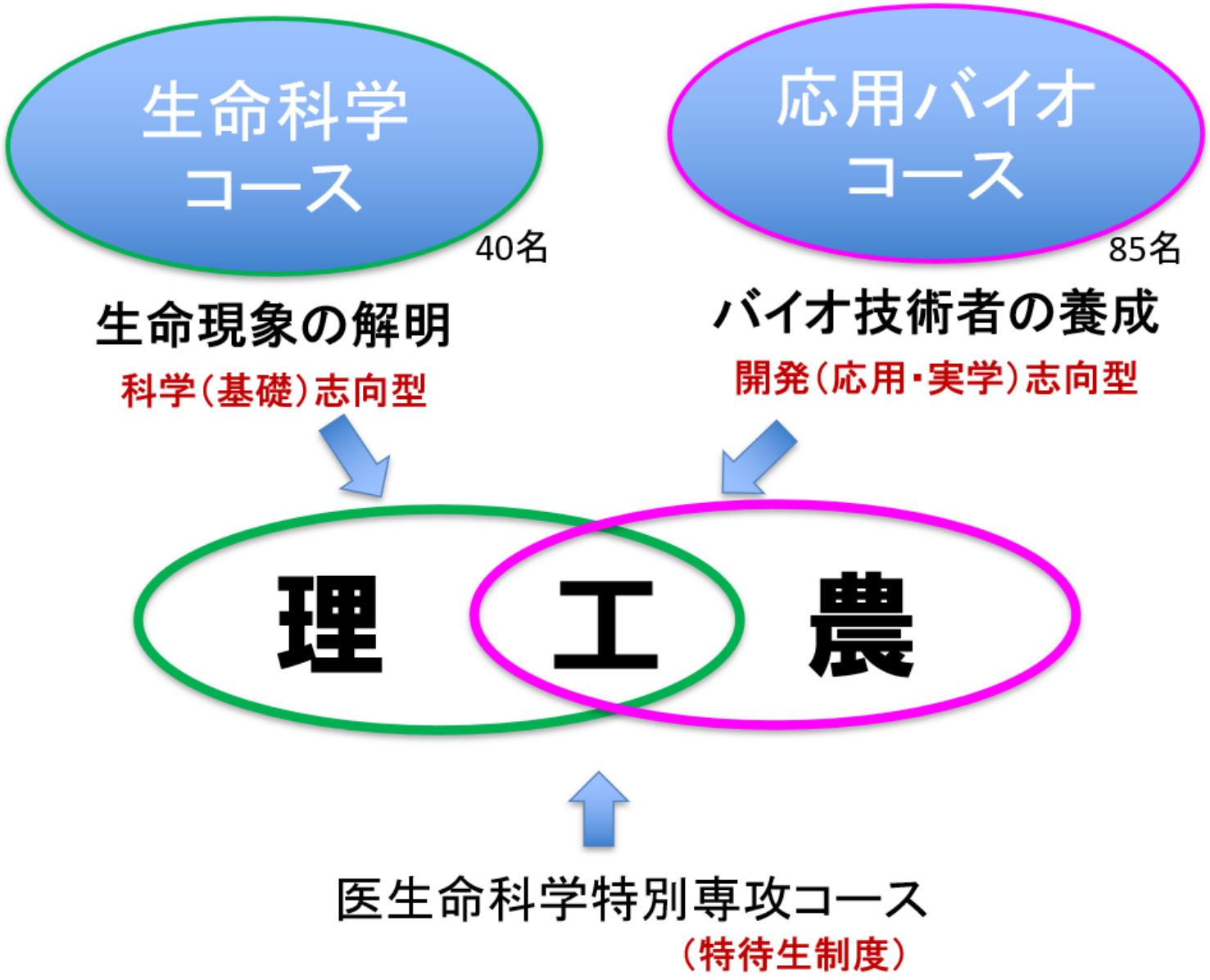
応用バイオ科学科

学科長　飯田泰広

応用バイオ科学科の5つの教育目標



応用バイオ科学科


生命科学
コース
40名
応用バイオ
コース
85名
生命現象の解明
科学（基礎）志向型
バイオ技術者の養成
開発（応用・実学）志向型
理
工
農
医生命科学特別専攻コース
（特待生制度）

充実したアクティブラーニングプログラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	就職・進学
生命科学コース	化学・生物学基礎ユニット 生命科学基礎実験	生命科学実験 バイオコンテスト 課題研究	生命科学実践プログラム 研究実践ゼミナール、課題研究、海外研修	基礎分野に役立つ研究力を高める	生命現象の探求で身に付けた問題解決能力で社会に貢献する
	レポートの書き方や実験の基礎、データ処理の基礎を学ぶ	実験技術の習得をすすめながらグループワーク、プレゼンテーション技術を身に付ける	企業の現場でも使われる機器分析やデータ解析、卒業研究に直結する実験を学ぶ	学んだ知識・技術を実践によって定着	大学院進学でさらに高い専門性を身に付ける
応用バイオコース	化学・生物学基礎ユニット バイオ基礎ユニット	バイオコンテスト ムービーコンテスト 課題研究	機器分析実験、応用バイオ科学実験 課題研究、機器分析特別実験、海外研修	バイオエンジニアとしての知識と技術を身に付ける	バイオ技術の応用で身に付けた問題解決能力で社会に貢献する

バイオサイエンスセンター

高度で先進的な実験設備を備えた、研究者をめざす人の学ぶ意欲にも応える施設。
「食品衛生管理者」など資格試験の対策にも対応できる機器を設置しています。

◆設置施設

バイオ実験室A・B・C／機器分析室A・B／バイオ演習室／クリーンベンチ室／食品加工室／遺伝子実験室／微生物実験室／植物培養室／動物飼育室／動物細胞培養室／水生動物室／低温室／培養室／植物工学センター

◆実験設備

DNAシークエンサー／プロテインシークエンサー／リアルタイムPCR装置／PCR装置／アミノ酸分析装置／ゲル解析装置／共焦点レーザー顕微鏡／走査型プローブ顕微鏡／フローサイトメトリー／マルチプレートリーダー／生化学分析装置／UPLC-TOF-MS／GC-MS／ICP発光分析装置／培養装置（コンピューター制御）／クリーンベンチ　など

バイオメディカル研究センター

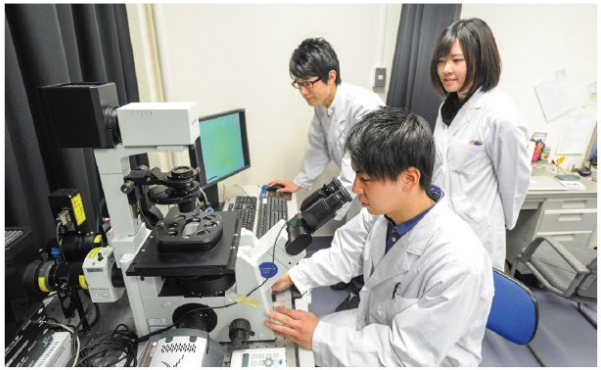
最先端の高度な研究機器を備え、医薬品開発や医療技術開発の基盤研究に取り組める施設です。

◆設置施設

生化学実験室／顕微鏡室／低温実験室

◆実験設備

等温滴定型カロリメトリー／Biacore／インキュベータ蛍光顕微鏡（タイムラプスイメージングシステム）／セルソーター



就職・進学

卒業生が活躍している企業（順不同）

- 秋本食品(株)
- アサヌマコーポレーション(株)
- アツギ(株)
- 越後製菓(株)
- カネ美食品(株)
- 関東化学(株)
- (株)紀文食品
- 協和発酵キリン(株)
- (株)江東微生物研究所
- ジーエルサイエンス(株)
- (株)シーボン
- (株)スリーボンド
- 第一屋製パン(株)
- 中外製薬(株)
- 月島テクノメンテサービス(株)
- 東洋合成工業(株)
- (株)中村屋
- 日東ベスト(株)
- (株)日本色材工業研究所
- 日本電子(株)
- 日本農産工業(株)
- 長谷川香料(株)
- ファンケルグループ
- フジパングループ
- 水ing(株)
- 三菱化工機(株)
- メルク(株)
- 森永乳業(株)
- (株)ヤマザキ
- (株)雪国まいたけ
- 横浜冷凍(株)
- リコージャパン(株)
- レイズネクスト(株)
- ロシュ・ダイアグノスティックス(株)
- わかもと製薬(株)
- 金融機関(北都銀行、横浜信用金庫など)
- 地方自治体職員(富士宮市など)
- 中学、高校教員
- 大学職員(秋田大学、東海大学など)
- 大学教員(東京大学、東京女子医科大学など)

他

大学院進学

※本学科教員による卒業研究指導学生の大学院進学実績

○本学大学院
○他大学大学院

- 北海道大学大学院
- 東北大学大学院
- 筑波大学大学院
- 千葉大学大学院
- 東京大学大学院
- 東京農工大学大学院
- 東京都立大学大学院
- 横浜国立大学大学院
- 横浜市立大学大学院
- 山梨大学大学院
- 静岡大学大学院
- 富山県立大学大学院
- 奈良先端科学技術大学院大学

他

海外留学プログラム

国際感覚を持った人材育成のため、短期（1か月）・長期（6か月）で「海外バイオ研修」を実施。バイオのための語学教育からステップアップし、最終的には英語や中国語でバイオ技術を身につけることを目的としています。また、世界の人々と交流を深め、見識を広げることも目標のひとつです。休学しないで、長期留学（半年）できるカリキュラムは、国内の理系大学では非常に珍しいプログラムです。

短期 海外バイオ研修Ⅰ

1か月
- 3週間　英語研修／中国語研修
- 1週間　バイオ研修

長期 海外バイオ研修Ⅱ

6か月
- 3か月　英語研修／中国語研修
- 3か月　専門科目履修

父母説明会資料（教務関係）
1年生向け

応用バイオ科学科

	標準	黄信号	赤信号
1年前期終了時目標単位数：	25単位	-	-
1年後期終了時目標単位数：	45単位	35単位	30単位

●3年終了次までに所定の単位数と条件科目を修得しておかないと、卒業研究の履修ができません。

●卒業研究履修要件　合計 104単位以上
●卒業要件　合計 124単位以上

他の条件もあります。
履修要綱に記載されています。

必修科目の単位取得ができているか、ご確認下さい。

必修科目（例）

- スタディスキル
- 現代社会講座
- 英語
- キャリア設計
- 化学・生物学基礎ﾕﾆｯﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
- 生命科学I
- バイオ工学基礎（Bコース）

必修科目は卒業までに単位取得が必要な科目です。

応用バイオ科学科 教務委員連絡先

卒業のために必要な単位等についてご不明な点があれば、以下のメールアドレスに、ご連絡下さい。

bkyoumu@ml.biokait.jp

教務委員：仲亀 誠司,和田 理征,山下 直也